

一般国道44号(北海道横断自動車道) 別保尾幌道路に係る新規事業採択時評価

1. 事業概要



図1 広域図

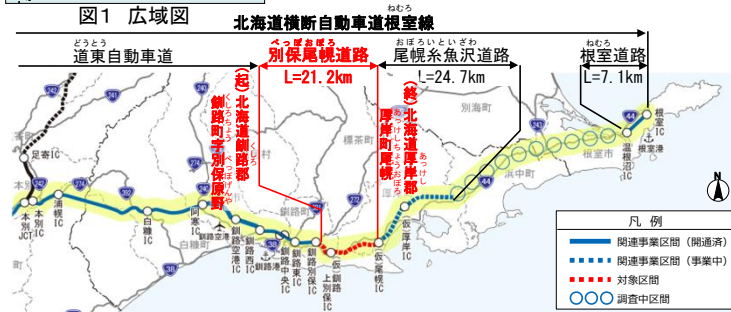


図2 事業位置図

- ・起終点: 北海道釧路市釧路町字別保原野～北海道厚岸郡厚岸町尾幌
- ・延長等: 21.2km (第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約1,250億円 ・計画交通量: 約9,800台/日

乗用車	小型貨物	普通貨物
約6,600台/日	約800台/日	約2,400台/日

①路線概要

- ・北海道横断自動車道根室線は、北海道寿都郡黒松内町から北海道根室市に至る延長538kmの高規格道路。このうち、別保尾幌道路は、北海道釧路市釧路町字別保原野から北海道厚岸郡厚岸町尾幌に至る延長21.2kmの北海道横断自動車道根室線に並行する一般国道の自動車専用道路。

②事業目的

- ・高次救急医療施設、物流拠点、空港、港湾等へのアクセス向上により、釧路根室地域における救急搬送などの医療活動、産業振興や観光振興を支援。
- ・釧路根室地域は今後30年以内に大規模地震が発生する確率が高い地域であり、また、並行する国道には地吹雪や洪水浸水区域が存在しているため、災害発生時における住民の避難や復旧活動を支える「命の道」として機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成。

③事業実施に向けた検討状況

- ・北海道横断自動車道は、上位計画として第四次全国総合開発計画(S62.6月)、新広域道路交通計画(北海道ブロック版)(R3.4月)、第9期北海道総合開発計画(R6.3月)、北海道総合計画(R6.7月)に位置づけ
- ・地域課題等をふまえ、計画段階評価(R4.12月～R6.12月)において以下の政策目標を設定し、ルート構造を検討
 - ①地域の暮らしを支える高次医療施設への速達性・安定性の向上
 - ②地域の農水産業を支える輸送経路の速達性・安全性の向上
 - ③災害発生時の避難・復旧活動を支える道路の機能確保
 - ④観光促進に向けた観光ルートにおける周遊性の向上

2. 評価結果

費用便益分析	■費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)						防災機能評価
	B/C	(参考)※4	EIRR※1	総費用	総便益		
	4%	1.4(1.1)	1.6		11,062億円※2		
	[2%]※3	1.9(1.7)	2.1	7,948億円※2 (770億円※2)	(848億円※2)		
	[1%]※3	2.3(2.2)	2.5				
注)費用便益分析結果は、本別JCT～根室ICを対象とした場合()書きの値は事業化区間を対象とした場合 ※1: EIRR: 経済的内部収益率 ※2: 基準年(令和6年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%) ※3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率 ※4: 参考として多様な便益を算出							
事業の影響	評価項目	評価	内容				
	歩行者・自転車への影響	—	注目すべき影響はない。				
	歩行空間	○	別線整備により事故危険区間を回避し、安全性の高いネットワークを構築。 (○事故危険区間【現況】3区間→【整備後】0区間(3区間回避))				
	社会全体への影響	◎	通過交通の転換に伴う、現道等の交通量減少により、歩行者、自転車の安全性向上に寄与。				
住民生活(政策目標①)	高次医療施設への速達性の向上による生活環境の改善	◎	【課題】 ・釧路根室地域の第3次救急医療施設は釧路市にしかなく、カバー面積は全国平均の約12倍であり、救急搬送に時間を要している。また、心疾患患者の死亡率が高い。 【効果】 ・救急搬送時間が短縮され、第3次救急医療施設60分カバー人口が増加し、地域医療サービスの向上に貢献。 ○釧路市高次医療施設厚岸町・浜中町 60分カバー圏人口 【現況】8.1千人(56%) 【整備後】9.9千人(69%) 【整備後】事業中含む尾幌糸魚沢道路と別保尾幌間利用ルート	図3 第3次救急医療施設カバー面積比較 全国 1,243km ² 北海道 6,417km ² 別保尾幌道路 14,480km ² 資料: 令和6年度国土交通省都市計画局(国土情報) 全国救命救急センター救急受診RS12現在(日本救急学会) おおほろいといざわ			
	地域経済(政策目標②)	◎	速達性・安全性の高い物流ネットワークを構築し、物流の効率化や地域の産業振興を支援	図4 人口10万人対死亡率(心疾患) 資料: 北海道統計情報(令和1～令和4) 図5 釧路市第3次救急医療施設60分カバー圏(冬期) 資料: 冬期カバー圏はETC2.0データより設定した冬期最低速度を通常速度に換算し、人口はR2国勢調査			
	災害(政策目標③)	◎	災害時における信頼性の高いネットワークの構築	図6 さんまの漁獲量 資料: 北海道水産現勢(R4)農林水産省 漁業・養殖業生産統計(R4) 写真1 貨物車の重大事故状況 資料: 釧路開発建設部			
	環境(政策目標④)	○	環境(CO2排出量)の改善	図7 物流ルートの現道課題 図8 30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率分布 資料: 全国地震動予測地図2022年版			

べっぽおぼろ

